

※概略図の単位は全てmm表記です。

●防災用共用装置

CD22-260-SR7

送受信共用アンテナ1基、スペースダイバシティ受信用アンテナ 1基で運用される送受信各2波用共用装置

CD23-260-SR7

送信用・受信用・スペースダイバシティ受信用アンテナ各1基で 運用される送受信各2波用共用装置

CD32-260-SR7

送受信共用アンテナ1基・スペースダイバシティ受信用アンテナ 1基で運用される送受信各3波用共用装置

CD33-260-SR7

送信用・受信用・スペースダイバシティ受信用アンテナ各1基で 運用される送受信各3波用共用装置

CD42-260-SR7

送受信共用アンテナ1基・スペースダイバシティ受信用アンテナ 1基で運用される送受信各4波用共用装置

CD43-260-SR7

送信用・受信用・スペースダイバシティ受信用アンテナ各1基で 運用される送受信各4波用共用装置



※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

CD□□-260-SR7

260MHz帯用

20UMH2带H						
型名	CD22-260-SR7	CD23-260-SR7	CD32-260-SR7	CD33-260-SR7	CD42-260-SR7	CD43-260-SR7
送信周波数(MHz)	269~275MHz内の指定周波数2波		269~275MHz内の指定周波数3波		269~275MHz内の指定周波数2波	
受信周波数(MHz)	260~266MHz内	の指定周波数2波	260~266MHz内の指定周波数3波		260~266MHz内の指定周波数2波	
送受信周波数間隔(MHz)	対向する送受信用周波数間隔において9.0					
送受信周波数間隔(MHz)	0.4以上					
インピーダンス(Ω)	50 (不平衛)					
VSWR(以下)	送信側: 各TX端子より該当する送信周波数にて1.3以下					
	受信側:ANT端子より各受信用周波数にて1.5以下					
挿入損失(dB)	送信側: 該当する送信周波数にて3.5以下					
挿入利得(dB)	受信側:各受信周波数にて20±2以内					
相対減衰量(dB)	送信側:各受信周波数にて70以上					
	受信側:各送信周波数にて70以上					
アイソレーション(dB)	送信側(TX端子間): 該当する送信周波数にて35以上					
	受信側(RX端子間): 各受信周波数にて20以上					
	送・受信間:指定周波数にて90以上					
雑音指数(dB)	該当するANT-RX端子間で、各受信周波数にて3.5以下					
1dB Comp出力(dBm)	各RX端子において、各受信周波数にて+10以上					
必要直流電源	-48V±10%、2系統、各0.5A以下、最大消費電力26.4VA					
可変減衰器(dB)	0~20以内(1dBステップ)					
最大許容入力	送信側: 1波あたり連続20W					
	受信側: +13dBm					
入出力接栓	高周波系:N−J型					
入出力端子	直流-48V電源入力: 6Pハーモニカ型端子台					
	警報出力+送信回路切換接点入力(装置代行): 6Pハーモニカ型端子台					
寸法(mm) (W×D×H)	260×300×2000					
質量(Kg)	約8	5.0	約9	3.0	約1	0.00